

優勝の八百山・富士組（前列左）、準優勝の岩成・加藤組（前列右）、3位の山本・伏見組（後列左）と男子1部（前列左）と男子2部（前列右）の表彰式



秋季大会1部

秋季大会は10月22日（日）市民公園にて開催。男子1部は八百山浩幸・富士和仁組（チーム愛牧）が5度目の優勝。女子1部は小境陽子・古橋葉月組（フリー）が初優勝した。

八百山・富士V

女子は小境・古橋

女子1部優勝の小境・古橋組（前列左）、準優勝の柴山・中野組（前列右）、3位の森山・浦野組（後列左）と女子1部（前列左）と女子2部（前列右）の表彰式



逆転岩成・加藤組下す
ハイレベル・男子1部はもう組の激闘。準決勝は、岩成・加藤・山本・伏見、八百山・富士・伊左治・高木の戦い。山本・伏見組にタイブレーク0-1で辛勝した岩成・加藤組と、伊左治・高

「秋季大会 成績」

- 男子1部 優勝＝八百山浩幸・富士和仁（チーム愛牧）
準優勝＝岩成洋平・加藤敦史（ロング・ロング・ロング）
第3位＝山本尚史・伏見祐哉（フリー）
伊左治孝紀・高木広道（フリー）
- 男子2部 優勝＝梅本 真・堀 龍一郎（フリー）
準優勝＝大藤敏治・大島健洋（ロング・ロング・ロング）
第3位＝丹羽浩巳・松本 勝（MATC）
鈴木克史・矢野 修（T-B）
- 女子1部 優勝＝小境陽子・古橋葉月（フリー）
準優勝＝柴山千沙子・中野久美子（丸新）
第3位＝森山由香・浦野優子（JUEGO）
作石 節・吉村結美（フリー）
- 女子2部 優勝＝杉浦智子・松下詩代（フリー）
準優勝＝小川由香子・中垣 恵（ロング・ロング・ロング）
第3位＝桑垣朱美・浜本千賀子（フリー）
加藤和泉・石川子星（BEARS）

木組を下した八百山・富士組の決勝は、八百山・富士が2-1の瀬戸際から盛り返してタイブレーク突入。7-3で八百山・富士が取つて5度目V。

◆八百山・富士の語「2-1からよく逆転できました。5度目Vですが、前半、2人で前出て行ったのですが、失点が多くて途中から雁行陣に変えて、相手の数を少し減らせたのがよかったかな、やましく褒められました」

柴山・中野 反撃届かず
女子1部は精鋭も組が熱戦。柴山・中野組と小境・古橋組の決勝は小境の手堅い巧打と機転を使い分ける古橋のヘアがリードを保ち、6-3で押し切った。小境・古橋組は今年春季大会に続く優勝。小境は昨秋、今春、今秋と3連勝。（2ページ面へつづく）

男子2部V

梅本・堤組

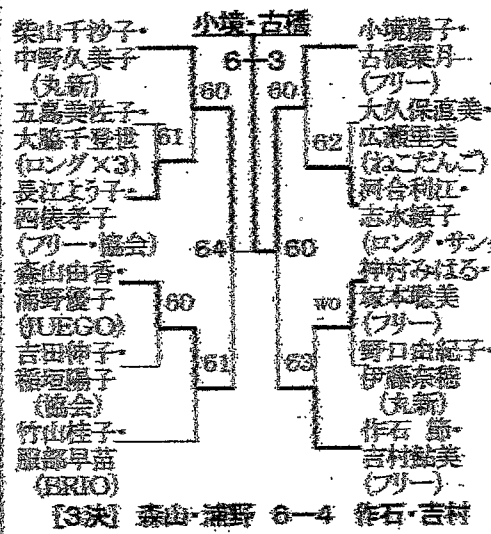
混戦の男子2部。21組出場。前年5位で第1シードの石川・武藤組(フリー)が初戦を主勝したが、丹羽・松本組に敗退。「卒業証書」を取りにきた石川の大膽・大嵐のヒング、アト、梅本・堤組(フリー)との決勝は、ダブルの熱戦。梅本・堤組が1-4で逃げ切つてV。大嵐・大嵐組も1部昇格の目標は達成。3決もダブルの接戦。丹羽・松本組が7-1まで勝つて、賞品を手にした。

女子2部V

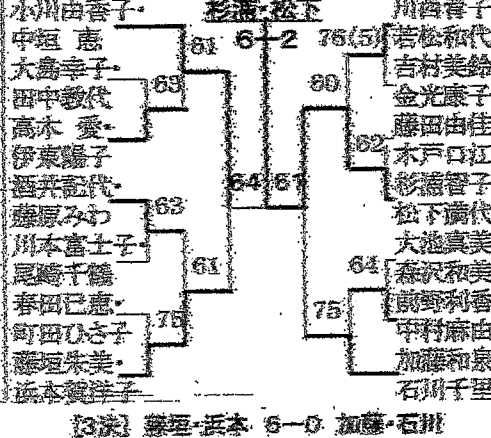
杉浦・松下

女子2部は出場14組。小川・中垣組(ロング)と杉浦・松下組(フリー)の決勝。攻守に安定感でやや勝る杉浦・松下組が6-2で勝つて優勝。杉浦・松下組は4戦とも相手を2ゲーム以下に抑え込む完勝。小川・中垣組も2部を卒業した。3決は藤野・浜本組が快勝。優勝の杉浦・松下組「何がよかっただろうか?運?いや、たまたま?」と、1勝は大変でしたと、うなづいていました。

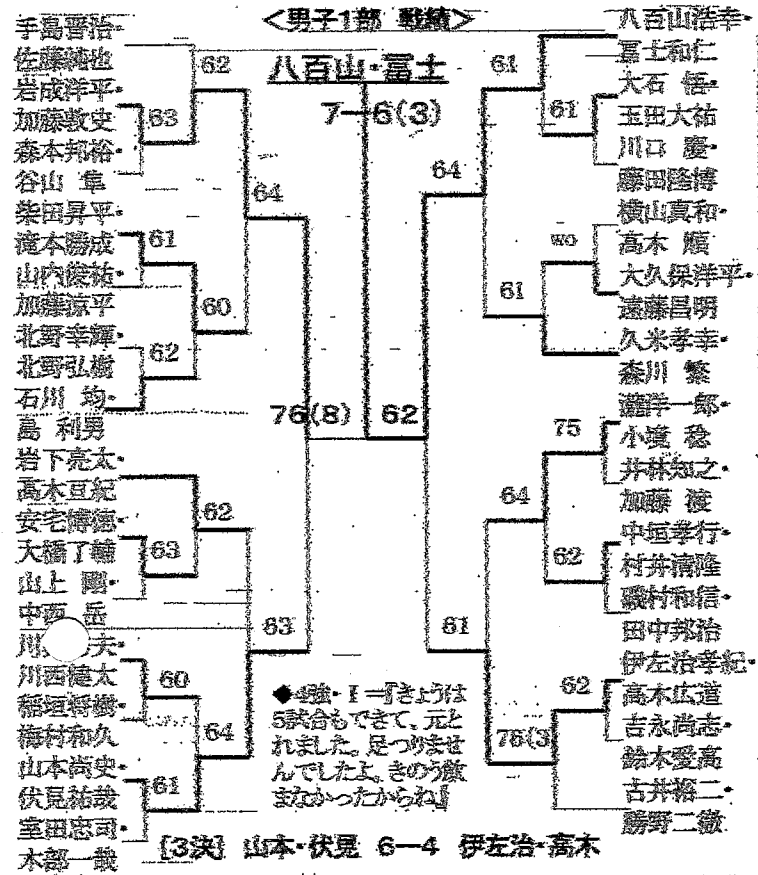
女子1部 戦績



女子2部 戦績



男子1部 戦績



男子2部 戦績

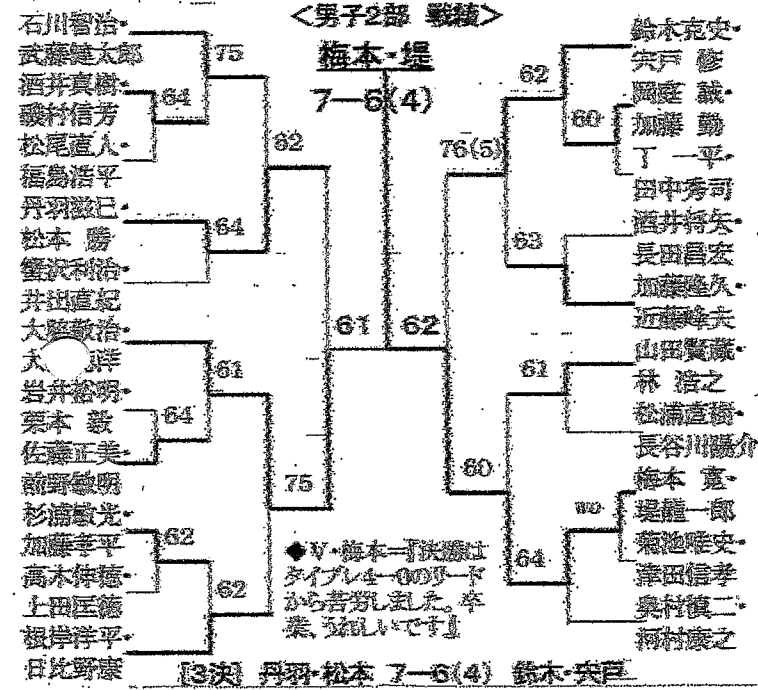
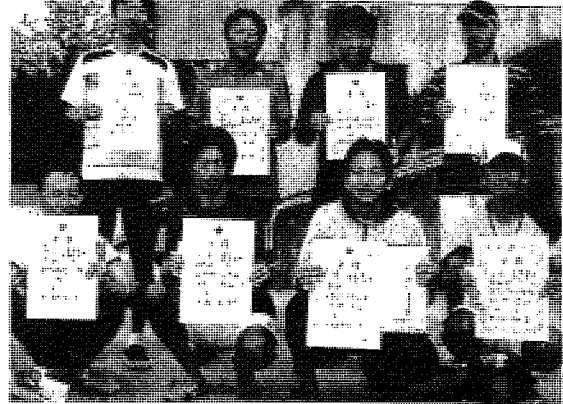


Table with columns for year, division, and winners. 2007: 竹元康明・鈴木登史. 2008: 八百山浩幸・富士和仁. 2009: 八百山浩幸・富士和仁. 2010: 冨田一行・福山剛章. 2011: 八百山浩幸・富士和仁. 2012: 喜多真一郎・野中裕. 2013: 森田将文・村松祐次. 2014: 八百山浩幸・富士和仁.

と、要が一部決選で、大賞...

男子と観衆の梅本・堤組(前右)と、女子の大筋・大島組(前左)3位の丹羽・松本組(後右)と鈴木・穴戸組(後左)



女子と観衆の杉浦・松本(前右)と、男子の小川・中道(前左)3位の藤・浜本(後右)と藤藤・石川(後左)

順延ナメター 教室終わる

7月5日から土曜夜4回の日程で開いた「ナイター教室」は、途中、雨で流れ流れて最終回は10月4日(土)。

市民公園Aで毎週午後6時から3時間のこの教室。今年の受講者は26人。全くの初心者から大会に出場し、白星を重ねている人までレベルさまざま。少年クラスを別にして、3クラスにわかれて練習を積んでいた。

真夏の暑さを避け、8月には終了予定だったが、最終回は予備日「雨」の空きの都合もあって、紅葉、秋風の10月にズレ込んだ。

最終日は出席者がやや少なかったが、練習後半は実戦ダブルスも。サーブ、ボレー、ボチ、スマッシュなりに練習の成果を発揮しようとの懸命になっていた。

最後に「修了証を手渡して午後9時、閉講した。

試合中のケイレン——協会の措置

「ケイレンも実力のうち」試合中の足なりの筋ケイレンは、ルール「けが」ではなく、「疲労・自然的体力の消耗」として扱われます。ケイレンでアウト・オブ・プレー(中断)が許される時間は、「ポイント間20秒ルール」の20秒です。選手は棄権を申し出ない限り、レフエリへの指示に従ってプレーを続けなければなりません。ケイレンで治療のための「メディカル・タイムアウト」(MTO:3分間)を取ることは原則できません。プレーを続行しない(できない)場合、まずタイムアウト・レフエリ・シロペースのプレーとして20秒後に「警告」を受けます。その後、レフエリへのインジケーションの指示があり、その20秒後に「プレー」しない(できない)場合は、コート・バイ・アウト・レフエリ・シロペースとしてレフエリはその選手の「棄権」を宣告する」としています。選手の健康・安全が第一。この観点から「ケイレン」の原則「手順」(失点・イター・失点・イター・失点)の要加罰則は取りません。従って、ケイレンした選手またはペアの選択は3つ。①棄権を申し出る ②棄権申告を受けるまで続行 ③イン

20秒で「警告」後、20秒で「棄権」宣告

交代まで続行し、交代時の90秒間に、自身で手当てする……です。協会主催大会は専門医やトレーナーを置いていません。熱中症起因のケイレンの特別措置(MTO)が取れるのは、専断家以外には判定不能です。ケイレンの手当ては単当人、横は当人とのパートナーに限られます。第三者は、レフエリへの許可を得て、棄権者などの助力はできませんが、手当てを行なうと、規定違反で選手が「失格」となる場合があります。要項にレフエリ名明記を健康中。

なお、「けが」とは、転倒による捻挫とか、常設物(審判台、ネットポスト、ベンチ、フェンス)との接触(衝突)やパートナーとの衝突による負傷など、明白な事故でそのものを指します。これら場合は直ちに「メディカル・タイムアウト」として、原則1カ所につき1回3分の治療時間をレフエリに要求できます。また、エンド交代までプレーを続け、交代時にMTOを取る(90秒+180秒)選択もできます(一度の度)。治療の残り時間を「休憩」に使ふことはできません。(日本テニス協会ルールブック参照)

<第8回「レディースビギナー大会」は不成立、お流れとなりました>

今後の日程

★瀬戸地方高校学年別大会
11月1日(土)、11月3日(月)午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市民公園、瀬戸近郊高校生。学年別男女単、複。参加費=1人800円。学校関係者に案内。

★社年・レディーステニス大会
11月30日(日)午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市内在住在勤または協会員で社年(=男子)45歳以上、レディース(=女子)40歳以上の男女別ダブルス。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=10月15日～11月12日。予備日=12月7日(日)。10月15日付広報掲載。

★協会創立記念大会&総会
12月21日(日)午前9時～午後5時。市民公園A。即席ペアの親睦ダブルス。途中、午前11時～午後1時まで体育館で総会。はがきで案内。雨天の場合は総会のみ開催。

★協会理事会・親睦大会
15年2月15日(日)午前11時から理事会。午後1時から親睦大会。市民公園A。雨天時は理事会のみ。

★春季テニス教室
15年3月1日、8日、15日の日曜3回。午前9時～午後1時。市民公園A。市内在住在勤在学者または市外協会員。先着80人募集。参加費=1人4,500円。受付=2月2日～2月18日。予備日=3月22日(日)。2月1日付広報掲載。

★第30回瀬戸地方高校生大会
15年3月23日(月)、24日(火)午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。瀬戸近郊高校生。男女単、複。参加費=1チーム3,000円。予備日=3月25日(水)。学校関係者に案内。

木順・近藤組が美酒 100歳ダブルス



2位T 稲垣・伊藤 迫ったが...



金川・安藤組を下す 加藤渡・丸山組Vは

＜ブロック予選リーグ成績＞

ブロック	勝-敗	順位
[A]		
高木 順・近藤峰夫(男)	2-0	①
柴田高良・伊藤佳知(混)	0-2	②
池田高子・田端典子(女)	1-1	③
[B]		
樋口剛央・高木正則(男)	1-1	②
吉村美鈴・金光麻子(女)	0-2	③
藤木敬一・杉浦敬光(男)	2-0	①
[C]		
遠藤昌明・広瀬里美(混)	2-0	①
加藤 渡・丸山裕美(混)	1-1	②
鳥羽羽紗・尾崎千鶴(女)	0-2	③
[D]		
吉田伸子・五百田富士子(女)	0-2	③
松下清代・杉浦智子(女)	2-0	①
奥村誠二・小川ゆかこ(混)	1-1	②
[E]		
川西秀夫・稲垣陽子(混)	0-2	③
藤田隆博・藤田由佳(混)	1-1	②
加藤昌也・吉井麻津子(混)	2-0	①
[F]		
酒井記代・藤原みわ(女)	0-2	③
酒井真樹・藤村信芳(男)	2-0	①
高木浩二・梶田和久(男)	1-1	②
[G]		
山田賢蔵・清家善之(男)	2-0	①
橋本太郎・岩井裕明(男)	0-2	③
石川 均・松尾直人(男)	1-1	②
[H]		
高木保幸・高木佐年(男)	2-0	①
町田ひさ子・春田巳恵(女)	0-2	③
長谷川了・中西 輝(男)	1-1	②
[I]		
金川誠二・安藤福泰(男)	2-0	①
大石 悟・五島美佐子(混)	1-1	②
木戸口江美・中村麻由(女)	0-2	③
[J]		
伊東陽子・高木 愛(女)	0-2	③
伊田洋一・加藤 勲(男)	2-0	①
前野敬明・前野利香(混)	1-1	②
[K]		
嶋 利男・石川千里(混)	1-2	③
大島幸子・田中敬代(女)	0-3	④
丹羽雄巳・川西香子(混)	3-0	①
稲垣将樹・伊藤奈穂(混)	2-1	②
[L]		
加藤昭生・浜本夏洋子(混)	2-0	①
加藤孝平・加藤和枝(混)	0-2	③
長江よう子・西條幸子(女)	1-1	②

※勝敗で並べば得失ゲーム差、それ
も同じなら高年齢が勝って順位決定

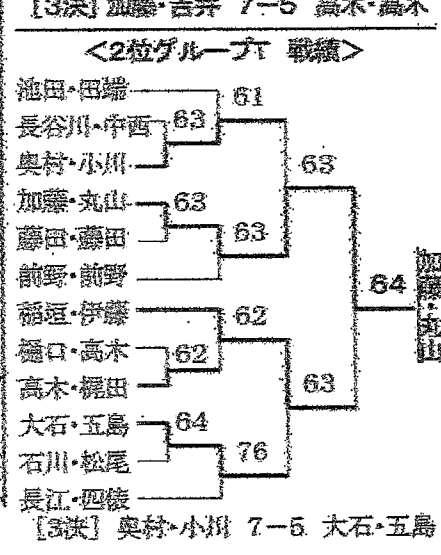
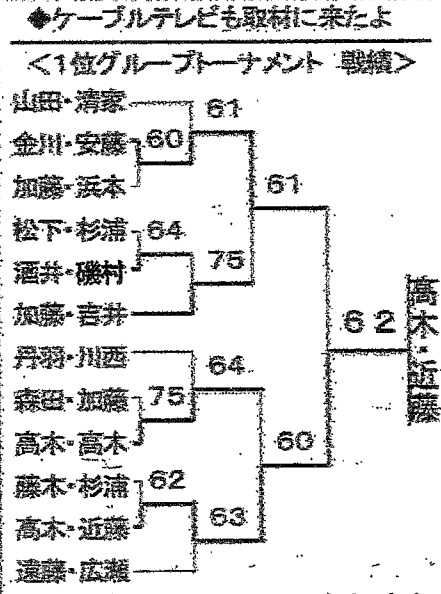
第9回100歳ダブルス大会は9月30日(土)市
民公園Aで実施。出場37ペア。当日トランプ抽
選で3組×1セットブロックと4組×1ブロックの計12セ
ットの予選リーグ。のち、1位と3位の各順位別
トーナメントは、川誠二・安藤福泰組を6-2で下して優勝した。

＜成績＞

＜1位グループトーナメント(GT)＞
優勝＝高木 順・近藤峰夫(協会)
準優勝＝金川誠二・安藤福泰(BRIO)
第3位＝加藤昌也・吉井麻津子(NAS)
高木保幸・高木佐年(フリー)

＜2位グループトーナメント＞
① 加藤渡・丸山裕美(ロング×3)
② 稲垣将樹・伊藤奈穂(丸新)
③ 大石悟・五島美佐子(ロング×3)
奥村誠二・小川ゆかこ(ロング×3)

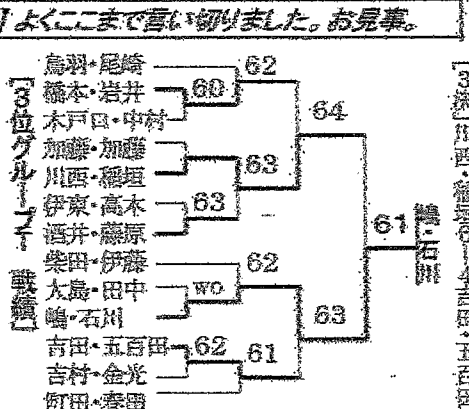
＜3位グループトーナメント＞
① 嶋利男・石川千里(ロング×3)
② 橋本太郎・岩井裕明
(アルパロス)
③ 川西秀夫・稲垣陽子(MATC)
吉田伸子・五百田富士子(協会)



100歳複 歴代優勝ペア>

回数	年	優勝ペア
06年	横山真和・高木淳子	
07年	高木 順・長沢裕二	
08年	高木 順・水野 香	
09年	長江幸和・安藤福泰	
10年	横山真和・原田吉隆	
11年	近藤峰夫・金川誠二	
12年	横山高純・富士和仁	
13年	加藤 勲・福島浩平	
14年	高木 順・近藤峰夫	

複100歳、涙顔90歳、女複80歳以
優勝者は同一ペアでは出場不可。

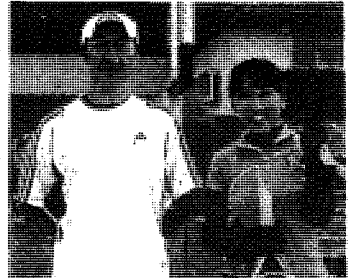


133歳高

優勝した高木・近藤組(前列)、準優勝の金川(左)、石川組(前列)、3位の加藤・吉井組(後右)と高木・吉井組(後左)



丸山組がV。稀垣・伊藤組との決勝は5-14まで、破の奇られたが、振り切った。



3位下は鳩・石川

予選3位に終わったが、グループリーグで3試合連続で男子ペアに敗れた鳩・石川組は、結果も敗退もなりの3-1で石川も負け。



初陣女子。ペア奮戦

初出場の女性陣。町田・青山組(左)、大島・田中組(中)、高木・吉井組(右)。吉井・山下組(奥)は予選に進出の難関。

アジア大会 19歳・西岡が金



選手時代の西岡(左)の活躍

仁川アジア大会テニス、男子単で19歳の西岡良仁(白)がベスト・オブ・ベスト(168位)が坂井利輝以来40年ぶりの「金」。ほか団体男女など銅6個の成績。

団体(男子2歳)は日本は男女ともに4強入りしたアジア大会でも中国に敗れて銅。男子は2大会、女子は3大会連続の銅。男子、中国との準決勝で西岡が先勝したが、松田祐一(三歳)と西岡が敗れ、後の伊藤聖典・丸山清美の北日本物産組も敗れた。女子も対中国の準決勝で西岡(シングルス)、江口美沙(北日本物産)が海賊、後の稀垣良樹・里紗(ロイヤル)と、稀も敗れた。

アジア大会テニス 金1・銅6

仁川良一 稀垣良樹 伊藤聖典 丸山清美 西岡良仁 坂井利輝 吉井亜由美 山下美由紀 鳩山和也 石川真由美 加藤浩二 吉井孝一 山下美由紀

リターン・シニア・シニア・シニア

男子単は稀垣・伊藤・丸山組が4強入りしてメダル争い。稀垣は準決勝で全米の強豪吉井と対戦し、第一セットの稀垣(古徳)に負け、第二セットをタイブレークで失う惜敗。西岡はバンブリ(インド)に惜敗。稀垣との決勝は稀垣とバックハンドが得意な左利きの若武者・西岡が6-2、6-0のストレートで

勝利を待望のメダル

◆西岡の語「心なごうまよく」とは、うれしう一言だ。稀垣の気持ちも変わった。全米予選優勝者が自信になった。リオ五輪、東京五輪にはぜひ出たい。

女子単 江口、稀垣「銅」

女子単は稀垣・伊藤・丸山組が4強入りしてメダル争い。稀垣は準決勝で全米の強豪吉井と対戦し、第一セットの稀垣(古徳)に負け、第二セットをタイブレークで失う惜敗。西岡はバンブリ(インド)に惜敗。稀垣との決勝は稀垣とバックハンドが得意な左利きの若武者・西岡が6-2、6-0のストレートで

初陣女子。ペア奮戦

初出場の女性陣。町田・青山組(左)、大島・田中組(中)、高木・吉井組(右)。吉井・山下組(奥)は予選に進出の難関。

稀垣・伊藤組がV

丸山組がV。稀垣・伊藤組との決勝は5-14まで、破の奇られたが、振り切った。

会報100号記念 Babolat が選ぶ? 名訳編 『Tennis runs in our blood』 『テニスだけが人生だ!』

V 高木3度目 近藤2度目

『Tennis runs in our blood』の巻頭語。初出場の高木・近藤組は、年齢の差を乗り越えて、年々伸びていく。稀垣・伊藤組の優勝は、高木・近藤組の優勝に続く。高木・近藤組は、予選で優勝した。高木・近藤組は、予選で優勝した。高木・近藤組は、予選で優勝した。

山田晃大、林彩子ら

◆山田晃大、林彩子ら 山田晃大(東京大学)、林彩子(東京大学)は、アジア大会で活躍した。山田晃大は、男子単で銅メダルを獲得した。林彩子は、女子単で銅メダルを獲得した。山田晃大は、男子単で銅メダルを獲得した。林彩子は、女子単で銅メダルを獲得した。

ジャパン・オープン

錦織 2週連続優勝

ラオニッチ下し2度目V

錦織が凱旋優勝！コート上で大の字…泣いていた
国内唯一の男子ツアー「楽天シモンオープン」(10月5日)で、東京有明)単は、前週マレーシアOPを制した錦織(主)第4シードが決勝で第3シードの宿敵・ラオニッチ(カ)ナダ)に辛勝して2年ぶりの度目の優勝。2週連続のV。



錦織、度目のトロフィー ツアー連続7勝目

伊藤がワウリンカ倒す

1回戦敗退。世界403位。伊藤善馬が全豪オープンで世界4位のワウリンカを倒す。5、6、7、8で倒した。ワウリンカは同僚・グラフィリニスに敗れ、第1第2シードが倒された。日本勢は初戦、16位・守屋宏紀が46位・ジョンソンに6-7、2-1、6-1、5-7、6-7、7-6、5-7の逆敗。浜田豪はヤングにス

右足の痛みをこらえて…

錦織の2回戦はヤング。6-4、7-6で辛勝し8強入り。しかし、連戦の疲れからか、右腕を痛め

右腕の痛みをこらえて…

錦織の2回戦はヤング。6-4、7-6で辛勝し8強入り。しかし、連戦の疲れからか、右腕を痛め



金星！アガシを破り、ガッツポーズの伊藤

◆錦織の話「慣れらねえわうれしい。眼帯を履き、また一つ壁を破れて優勝した。体のこたえは一杯だった。ラオニッチのサーブに食らった。2回しかないと覚悟して、その集中した」

[準々決勝以降 数字は世界ランク]

62・ベッカー	21			
70・ソック		21		
7・錦織 主	20		21	
34・シャルデイ				7-6 (5)
60・イスマン	20		20	4-6
8・ラオニッチ				6-4
37・シモン	20			
46・ジョンソ				

復讐の素直を決めた。

錦織は34位・シャルデイ。過去錦織と勝った。2強サーブでやりにくい相手だが、サーブで乗りかけた。6-4、6-2。けがを押しての戦いを、大切な時期なので大きなポイントを取りたい。ツアー・ファイナル出場への意欲。準決勝は対ベッカー。第1セットを4-6で落とし、第3セットは6-10で苦戦。最終セットはタイブレークを1-2からポイント

復讐の素直を決めた。

錦織は34位・シャルデイ。過去錦織と勝った。2強サーブでやりにくい相手だが、サーブで乗りかけた。6-4、6-2。けがを押しての戦いを、大切な時期なので大きなポイントを取りたい。ツアー・ファイナル出場への意欲。準決勝は対ベッカー。第1セットを4-6で落とし、第3セットは6-10で苦戦。最終セットはタイブレークを1-2からポイント

強サーブに食らいつく

決勝はラオニッチ。過去3勝1敗。第1セットをタイブレークで取る。第2セットは失ったが、最終セット5-4から唯一のブレイクに成功して優勝を決めた。計2本のサーブミスを食べたが、勝負所のリターンでは抜群の集中力。優勝ポイント500と賞金265万円を獲得。ラオニッチは3年連続の連覇。ラオニッチの話「去年、今年とチャンスがあったのに…かなり苦しかった。主は自信満々のプレーに見え、思い切りがよかった

目玉は錦織・アガシ

来月、震災復興支援試合。東日本大震災復興支援試合の慈善試合が11月22日(土)東京有明で開かれる。4年連続の開催。錦織が4大会連続のアガシ(43歳)が目玉。園田修造や松岡修造らも参加。

復讐の素直を決めた。

錦織は34位・シャルデイ。過去錦織と勝った。2強サーブでやりにくい相手だが、サーブで乗りかけた。6-4、6-2。けがを押しての戦いを、大切な時期なので大きなポイントを取りたい。ツアー・ファイナル出場への意欲。準決勝は対ベッカー。第1セットを4-6で落とし、第3セットは6-10で苦戦。最終セットはタイブレークを1-2からポイント



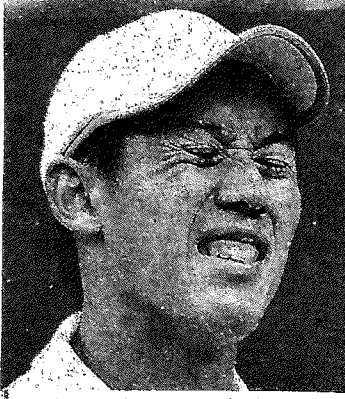
錦織6勝目 マレーシアOP制す

錦織、全米準V 上位3人 なぎ倒し

決勝 チリツチに屈す

全米、錦織惜しくも準優勝。第10シード・錦織はライオンツチ、ワウリンカ、ジョヨビッチと上位3人を連続。決勝でチリツチに敗れ、夢の4大大会初制覇ならず。女子はセレナが3年連続6度目のV。賞金3億1500万円獲得。

4回戦で第9シード・トラオニツチを破つて8強入りした錦織は準々決勝で第3シード・全豪覇者ワウリンカも4時間を超すフルセットで



女子はセレナが3連覇

死力の4戦、計13時間20分

- ◆4回戦○=対⑥トラオニツチ 4-6、7-6、6-7、7-5、6-4(4時間19分・逆転勝ち)
- ◆準々決勝○=対③ワウリンカ 3-6、7-5、7-6、6-7、6-4(4時間15分・逆転勝ち)
- ◆準決勝○=対①ジョヨビッチ 6-4、1-6、7-6、6-3(2時間52分・快勝)
- ◆決勝○=対②チリツチ 3-6、3-6、3-6(1時間54分・ストレート負け)



倒した。これでワウリンカに1敗。日本男子の全米4強は、熊谷一弥(くまがい いちよし)以来95年ぶり。

錦織は相手の片手バックのクロスに苦しんだ。腰を落として、早めにフォアバックして疲れた。最後セットは集中して最後にギアを上げて勝つことができた。疲れて、勝つ喜びを元気がなかった。

世界1位ジョヨビッチとの準決勝は1-1からの第3

男子準々決勝以降

①ジョヨビッチ	31	30
⑧A・マリ	31	
③ワウリンカ	32	30
⑩錦織-圭	30	
⑥ペルディハ	30	30
④チリツチ	30	
②モフイス	32	30
⑨フェデー	32	

◆錦織の話=「自分のテニスができず、寂しい敗戦だが、初めて決勝まで来られてうれしい。支えてくれたみんなに感謝する。来年もこの場所に戻って来たい。本当に楽しい2週間だった」

女子準々決勝以降

①セレナ	20	20
⑧ペンネッタ	20	
⑩マカロワ	20	20
④ペンチッチ	20	
②ウオズニアッキ	20	20
⑨エラニ	20	

◆セレナの話=「自分でできるのかわからない。夢の初優勝。人生最高の日だ」

◆伊達組、決勝進めず
女子準は上位シードが姿を消す中、第1シード・セレナが第10シードのウオズニアッキを圧倒して3連覇。女子複は伊達公子・ストリコバ(スリコバ)組が4強。準

チリツチ 出来過ぎだ
互いに初優勝をかけた決勝。ペルディハ、フェデーラーに完勝の25歳・チリツチ。長身198センチからの強サーブと速い展開の打ち合いが得意。過去錦織の5勝2敗で最近3連勝。

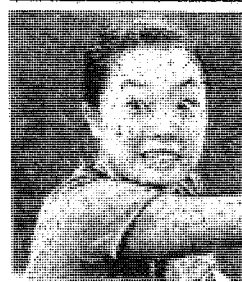
開始：相手の強サーブに押される。ストローク戦も主導権が握れず後手に回る。第1、第2セットとも先にブレークを許して失う。後がない第3セット、必死に抵抗したが、またも3-6、1-6。2年来の夢が潰れた。

セットのタイプブレをもぎ取って2-1。第4セットを6-3で押し切る快勝。これでジョヨビッチには2勝1敗。

◆錦織の話=「うれしい。気持ちで負けないようメンタルを準備した。世界1位を破つて特別な気分だ。疲れもあつたが、ジョヨビッチの方が衰えているように見えた」

◆ジョヨビッチ脱帽=「グレイはとても攻撃的だった。後継でどんな球でも返してきた。すばらしいプレー。彼の方が今日は上手だった」

決勝でマカロワ、ペシナのロシアンに敗れた。マカロワ組はヒンギス・ペンネッタ組を下して初V。男子複はブライン(兄弟第2米)が5度目、混復はミルザ(インド)、ソアラ(ブラジル)組が初優勝。



初戦惜敗の奈良

女子の東レ・パンパシフィック(東京有明)9月22日まで単は第8シード・ウオズニアッキと第3シード・イワノビッチの元女王同士の決勝。全米準優勝後も好調を保つウオズニアッキに対し、イワノビッチが長身184センチから繰り出す強打で第1セット2-1から一気に奪い、第2セットのタイプブレも制して初V。今季4勝目、ツアー15勝目。2140万円を獲得。世界36位・奈良くるみは初戦で第8シードの格上テアラレスナバロに1-6、6-1、2-1の惜敗。86位・伊達公子は股関節を痛め、元女王・ペルディハに逆転負け。日本勢は3日目で全滅。



◆注目のペンチッチ、8強ならず
本紙推薦のペリンダ・ペンチッチ(スイス・17歳)は単1回戦でクズネツォフに6-3、6-0で快勝したが2回戦で第7シードのサフロバに敗れ8強ならず。大先輩のヒンギスと組んだ複は準々決勝でブラック・ミルザ組に敗れた。今後も注視!

準々決勝以降

ケルパー	20	20
ケチサフロバ	20	
イワノビッチ	21	21
ムグルサ	21	
スアレスナバロ	20	82
ウオズニアッキ	20	

複はブラック・ミルザV2
複は全米4強で期待の伊達・ストリコバ組、奈良・青山・修子組、宮村・美紀・波形純理組などがいずれも1回戦敗退。決勝はブラック・ミルザ組がムグルサ・スアレスナバロ組を下して2連覇。

全米500

中川組が初V

全米3シニア男子複で中川直樹(徳川)はジャシカ(金)と組み、決勝でブラジルペアを下して初優勝。4大会3シニアでの日本優勝の優勝は08年全仏の錦織圭・サアレンセン組以来8年ぶり。

国枝、上地2冠

全米車いす男子単決勝で世界ランク1位の国枝慎吾がアルゼンチン選手を下して2011年以来5度目の優勝。ウデハヒと組んだ複も07年以來2度目のVで単複2冠。複のみの全米を含む複は年間グランプリでも女子単の20歳・上地裕衣は決勝でオランダ選手に

4大会2勝の李娜が引退



11年全仏に続き今年全豪を制した李娜

李娜(リナ)が中国32歳で引退を表明した。2011年全仏でアジア勢で初めて4大会全豪を

「全米500」 錦織圭V記念、全米から5名
 Q1 錦織特需! ウデア品切れの大人気。そのブラ下名は?
 Q2 今季から錦織をコナチ。往年のアジア系米国人選手は?
 Q3 4強は能谷以来96年ぶり。当時活躍の日本選手名は?
 Q4 女子単・奈良を破って8強入りしたブーシードの新鋭は?
 Q5 女子1・208位。初戦で第1ラウンドを倒した15歳は?

快勝。全仏に続き初優勝。ホワイリー(英)と組んだ複も初優勝を果たし、複は国枝と同じく年間グランプリでも達成。

◆錦織に功労金500万円 日本テニス協会は全米男子単複優勝の錦織圭にテニス振興に貢献大として功労金500万円を贈ることを決め、ジャパン・オープンで表彰した。

制覇。14年全豪でも優勝して2個目のタイトル。今年全豪以前は、08年の故障などで休養。2位まで上がった世界ランクも最近では6位に落ちた。パリ・オリンピックでテニス選手をめぐったが、8歳でテニスに転向。17歳でプロに異端・反骨の選手生活。萬元にハイ・プロと驚異の入れ替り。国家管理下で反抗して海外に拠点を置く。国の支援を受けず、自立したプロとなった。成長。武漢出身。17才。米の選手に劣らぬ力強いストロークを武器とした。

大坂なおみ 米在住夢は東京五輪



大阪生まれ・16歳・180cmの新星

日本女子オープン(大阪)10月12日まで。単で米在住の16歳・大坂なおみ。写真が湘南藤原花を破った。2回戦は世界31位。第3ラウンドのストレート

ナに6-3、3-6後の最終セット4-1とリターン。あとワタ、アまま追ひ詰めたがミス連発、4-6の逆転負け。6輪を逃した。世界265位・主権者推薦、ハイチ出身の米人父と日本人母を持つ大阪生まれの16歳。3歳から移住。身長180センチからの強いサーブ・フットワークが武器。7月に2011年全米女王のスト・サーを破って注目された。種別はセリナ・ウィリアムス、東京五輪代表をのぞく。生まれ故郷での試合後はタニヤキ、タペイ、ブレと同時く荒削りな日本語で笑った。

もこの大会から始動、4強入りの好スタートを切った。

現在(6日)	ポイント	選手名
8650	①	ジュゼッペ
7020	②	フェデラー
6735	③	ナダル
4795	④	ワグネル
4255	⑤	錦織
3980	⑥	チリッチ
3765	⑦	ベルディ
3740	⑧	ラオニッチ
3585	⑨	アラビア
3535	⑩	フェル

昭和は遠くなりにけり
 山口 博子 やまぐちひろこ。李香蘭。女優。歌手。二支那の夜。二夜来香など。本名、大藤淑子。元香川、土井たか子も逝く。

阪井 義嗣 さかいよしのり。64年・早大1年時、東京五輪聖火点火者。69歳。広島で原爆被害下の日誕生。陸上400m。作家・山口洋子、リスマ、元園崎若狭、ドカバ、香川、土井たか子も逝く。

ダブルス 勝てる可

ヘアングルポールを打つという堅球はダブルスで最初に見えるべき戦術でもある。センター打ったボールを相手のどちらが取るかでセンターコートができるサイドが変わる。相手のどちらが取りそうなボールを早く見極め、「拾った方のサイドラインへ」をイメージして、待って、落ちて着いて決めよう。アングルを見せかけて「センターへもう1本も有効だ。

◆アングルポールの1手前「センター攻め」 センターとアングルの組み合わせはダブルスでも最も多用される戦術。アングルに打ちたい時は、まずセンターへボールを集めよう。相手2人をセンターに寄せることでサイドに大きなオーブコートができるのを知っている。センターはサイドアウトのリスクがないので、安全に相手陣に空気を作りやすい。少ないリスクで空いたスペース

火災

○びつくり! ノーベル賞と御岳噴火。噴石直撃。死者64人。最悪の火山災害。自然は怖い。
 ○「錦織行け8輪」(題名)は先礼を言出しに成りました。全米準優勝。マシニア、シヤムと運運続々。伊藤が金屋、西岡が金メダル。三重出身も活躍。
 ○「瀬戸4大会」の1ラ。秋季大会。八石山・富士が21.5から逆転V。夜、R君と2部へ出たが5.12から落として賞状進す。
 ○「100歳ダブルス」。高木シニアと組んでV。聖蹟買いました。けど、短脚1発勝負で短く通り勝ち切る。ついで海外大変な年ですよ。これにて大会は7月解散。来年3度目Vを狙います。
 ○「正し」でダブルス。シヤムと「ナ」の徹底を固めています。「ナ」の得意「3」面は2回運幸会に勝ります。8日夜の練習会は皆皆月食の赤黒い月の下で。18日。最終回でござい。(近藤)

会報「STIK」 業務部発行。1998年本誌創刊。原則毎月発行。第10号まで。堀田俊孝、以降は近藤幸夫が制作を担当。創設額240。会員で増減。
 ●S1K会員募ります。瀬戸市テニス協会(S1K)は会員を募集中です。初年度入会金1000円。十年会費3000円。次年度からは年会費のみ。市内在住・在学者は入会金免除。大会出場料が原則無料。月4回の練習会。年2回の森林浴会などに無料参加。市外の方も初年度4000円で入会OKです。

＜8＞